

2016年度第4回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2016年10月14日（金） 午後6時30分から
- 2 場所：立川市柴崎学習館（立川市柴崎町2-15-8） 第1教室（地下）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：6名
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡、矢崎省三
欠席者：清田義昭、平山恵三
事務局：
- 4 報告及び協議事項
 - (1) 第1号議案 会員の動向について【報告】
 - ・2016年10月1日現在
正会員91名 3団体 賛助会員40名 1団体 計135名である。（前回と変わらず）
 - (2) 第2号議案 『2012年度 総会記念パネルディスカッション記録および資料集』の発行について【報告】
 - ・作成が数年越しの課題であった同書の版下を確定し、10月9日に180部を印刷・製本した。（奥付日付は、2016年10月20日とした）
 - ・来週末に予定している「多摩デポ通信第40号」に同封して、会員と多摩地域及び都立の各図書館に送付する予定である。
 - ・内容は、同パネルディスカッションの要約記録が中心だが、雨谷報告の後に掲載した「『東京都立中央図書館 事業報告』および『東京都立中央図書館 事業年報』に見る事業内容の変化」は、1970～2006年の間に毎年発行された事業報告冊子（『事業報告』が途中から『事業年報』となった）の記載を追って方針の変化をとらえてみた8ページに及ぶ資料となった。今後の研究にも役立つと考えている。
 - (3) 第3号議案 第26回多摩デポ講座実施と継続の企画について【報告・協議】
 - ・当初8月30日に予定した、第26回講座 「国立国会図書館の蔵書デジタル化計画とまちの図書館、読書の未来」講師 徳原直子氏（国立国会図書館電子情報部電子情報企画課課長補佐）は台風直撃の恐れから延期し、日を改めて10月6日（木）国分寺労政会館 第3会議室で実施した。（午後6時30分開場：6時45分開始 質疑を含め午後8時45分終了）
 - ・参加者は25名。会員外参加は9名。
 - ・講師から表紙含めて全67pに及ぶ「国立国会図書館のデジタルアーカイブ事業～資料デジタル化を中心に～」というスライドデータが配布資料用に事前に送られた。講演依頼時にお願ひした「資料デジタル化基本計画2016-2020」のことだけでなく、デジタル化事業の総体的な見取り図と、事業への反響の現状を伝えたいと用意されたようだ。
 - ・分かりやすく率直な話しぶりで、説明個々の場面に課題や次の議論のヒントがあった。参加した現場から、市立図書館の実態を元にした的確な質問も出されていた。
 - ・しかし時間の関係で後半の話が駆け足となり、全体が終わらなかった。
 - ・講演の内容は（現物資料の保存を図る我々にとり背景の現状認識となる重要な話ではあるが）、図書館現場にいる者にもっと聞いてもらえればよい、現在の実務の開発に役立つ話であった。
 - ・講演者からは講座終了後、多摩デポホームページ公開用にと、講座会場で使ったスライドデータに若干の訂正と追加したコンテンツが送られてきている。活用したい。

- ・同じ徳原氏に依頼し、今講演を総論として、こちらからの要望や質問なども事前に伝えしながら、後半部を中心とした各論的な続編の講座（パート2）を企画したい。
- ・希望の実施時期は、来年の1月下旬頃。それを第28回講座とする。
- ・予定していた新都立多摩図書館の開館後の見学会は、それと時期が重ならないように希望としては2～3月に設定し、それを第29回講座とする。

(4) 第4号議案 第27回多摩デポ講座の予定について【報告】

- ・企画は前回に報告したが、以下のように決定し、広報を始めるところである。
 - ・講座名 「私の図書館での仕事、そして多摩六都連携」——「多摩地域の図書館行政を担う図書館員に聞く」その3
 - ・講師：伊藤高博（清瀬市）、岡野知子（東久留米市）、田中香代子（東村山市）、奈良登喜江（西東京市）
 - ・パネルディスカッション司会：湯澤瑞彦（小平市） 全体司会：齊藤（多摩デポ）
 - ・日時 11月14日（月）午後6時30分～8時30分
 - ・会場 立川市女性総合センター・アイム5階 第3学習室
- ※北多摩5市の図書館長全員によるパネルディスカッション。小平市の湯沢館長以外の4館長は、司書資格図書館長で長年、図書館作りに実績を残されたが、揃って今年度で定年退職となる。
- ・多摩六都の図書館連携の意味や連携の作り方、形成過程、そして自身の図書館の仕事への想いや後輩たちへのメッセージをいただく。
- ・共同保存の実現にはすべての図書館の連携が必要である。多摩地域での図書館への理解と連携をすすめる機会となることを意図する。
- ・従来の「講座」の広報以上に、多摩地域の図書館関係者、利用者への周知の努力を行い、参加する方を掘り起こしたい。
- ・終了後には懇親会を予定、その会場確保なども準備する。

(5) 第5号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・9月20日に予定をしていた定例会は台風のため延期した。そのため、10月3日に千葉経済大学短期大学部齊藤研究室にて今までの懸案事項（改良が課題となっていた点）について検討し、システムへの反映を行った（対応ーカーリル：吉本・ふじた、多摩デポ：齊藤）。
- ・改良点は次のとおりである。
 - (1) ISBNの“ー”のありなしに関わらず検索ができるように改良した。また間違ったISBNを入力した場合には、「ISBNが正しくありません」を表示するようにした。
 - (2) ISBNを入力後、書名を表示するように改良した。NDLのデータを使う。すべてが表示されるわけではないが、大部分の資料は書名が表示されるようにした。
 - (3) ヒット件数が2冊以下の場合には通常とは違った音が鳴るように改良した。なお、現状では都立図書館の蔵書が2冊に含まれる。今後、都立図書館を含めるかどうかを検討する。
 - (4) 東京都立図書館がヒットした場合には、えんじ色の中に館名（東京都立図書館）を表したものを表示するようにした。なお、ヒット件数には都立図書館が含まれる。
 - (5) 多摩地域全体の図書館を検索して、検索対象がシステム更新等でつながらない場合には、ヒットした自治体名の最後にグレーの中に館名を表示するようにした（注意マークも付与）。
 - (6) 外国語資料のISBNにも対応していることを確認した。

(7) 青梅市が検索されない場合が多く課題となっていた。今回、原因の究明を行い、検索できるように試みた。しかし、まだ完全ではなく、今後も原因究明を続けることとした。

- ・今後、更新された TAMALAS を使ってもらい不都合な部分の洗い出しを行いたい。なお、次回の定例会は 10 月 18 日 (火) だが、この中で今回の改良点の検証を行い、その上で TAMALAS の検索画面上に改良点の説明書きを載せる予定である。

(6) 第 6 号議案 TAMALAS の普及活動について【報告・協議】

- ・多摩地域で最後の 2 冊を保存するための基盤整備として TAMALAS を開発しているが、その目的や運用の普及活動が必要である。今後、多摩地域のさまざまな図書館を訪れ、説明・普及活動を行っていく予定であるが、その第一回目として多摩北部都市広域行政圏（小平・清瀬・西東京・東村山・東久留米）で行いたい。
- ・具体的には、小平市図書館が実施する職員研修会に他の四市の職員も参加してもらい、研修会と同時に TAMALAS 説明会を実施することで検討を進めている。日程は次のとおりである。
- ・日時 12 月 8 日 (木) 午後
場所：小平市図書館視聴覚室
内容：職員研修会（講師：齊藤誠一）＋TAMALAS の説明会

(7) 第 7 号議案 多摩デポ通信第 40 号について【報告・協議】

- ・理事長の巻頭言……最近受けた取材や開催した講座の手応え、パネル記録発行などを含め
- ・『2012 年度 総会記念パネルディスカッション記録および資料集』の発行、内容紹介、執筆者の想い（雨谷）
- ・実施した第 26 回多摩デポ講座の概要報告・質疑内容・次回案内
- ・第 27 回多摩デポ講座の案内と参加呼びかけ
- ・TAMALAS 部分改良の紹介と利用呼びかけ……共同研究報告その 8
- ・岩手県大槌町の新図書館へ里親本寄贈
- ・新定款の東京都による認証について

<同封発送物>

- ・第 27 回多摩デポ講座の案内チラシ
- ・連載「たま手箱」コラムの既発表分（3 回）
- ・『2012 年度 総会記念シンポジウム記録および資料集』

※東京都から 8/29 付で認証書が届いたので、会員には施行日を入れた新定款全文を送付

(8) 情報交換

- ・この間の多摩デポホームページへのアクセス件数とその分析について
- ・多摩デポブックレット第 11 号原稿の進行状況について
- ・奈良県立図書館情報館の二人の職員の方の出張取材（9 月 16 日午後）について
- ・事務所で保管中の『国史大辞典』第 1～14 巻(索引巻の第 15 巻上中下は欠)を、平成 30 年度に新館開館予定である大槌町立図書館で受け入れて使ってもらえることになった。発送準備中。

【共同保存図書館関連論文】

特になし

【読売新聞 多摩版コラム「週刊たま手箱」】

